

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-240635
 (43)Date of publication of application : 28.08.2002

(51)Int.CI.

B60R 7/04

(21)Application number : 2001-042790
 (22)Date of filing : 20.02.2001

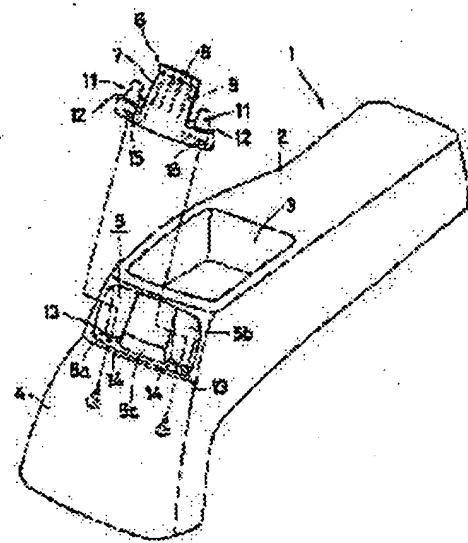
(71)Applicant : SUZUKI MOTOR CORP
 (72)Inventor : YAMAZAKI TOSHIO

(54) HOLDING PART FITTING STRUCTURE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a structure for fitting a holder for tickets or the like and a hook for supporting a holding part of a shopping bag to a center console.

SOLUTION: A front surface 4 of the center console 1 is formed with a triangle recessed part 5. A holding part 6 is fitted to the recessed part 5, and the holding part 6 is housed in the recessed part 5 so that the holding part 6 is placed on the horizontal surface 5a. The holding part 6 is provided with a tongue-like holder 7 projecting upward to hold tickets or the like. The hook 11 is formed in both sides of the holder 7 so that the holding part of the shopping bag can be hooked thereon.



Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2002-240635
(P2002-240635A)

(43)公開日 平成14年8月28日(2002.8.28)

(51) Int.Cl.?

識別記号

F I
B 60 R 7/04

テ-マコ-ト⁺(参考)

(2) 出願番号 特願2001-427906 P2001-427901

(22) 出願日 平成13年2月20日(2001.2.20)

(22)出願日 平成13年2月20日(2001.2.20)

(71)出願人 000002082

スズキ株式会社

静岡県浜松市高塚町300番地

(22)出願日 平成13年2月20日(2001.2.20)

(72)発明者 山崎泰夫

静岡県浜松市高塚町300番地 スズキ株式会社内

(74) 代理人 100099623

弁理士 奥山 尚一 (外2名)

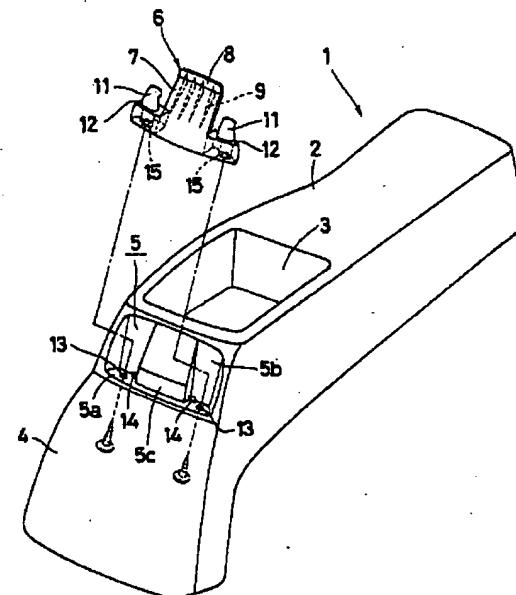
Fターム(参考) 3D022 CA07 CA14 CB01 CC24 CD06
CD24

(54) 【発明の名称】 保持部品の取付構造

(57) 【要約】

【課題】 センターコンソールにチケット等のホルダーと、買い物袋の把持部を支持するフックとを取付ける構造を提供すること。

【解決手段】 センターコンソール1の前面4には、三角形状の凹部5を形成している。凹部5には、保持部品6が取付けられ、保持部品6は、水平面5aに載置されるように凹部5の内部に収容される。保持部品6には、チケット等を保持する上方に突出した舌片状のホルダー7を設けている。ホルダー7の両側部には買い物袋の把持部を引っかけるフック11が形成されている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 車室内に持ち込まれるチケット、レシート、カード等の薄物を保持するホルダーの保持部を車室の内装品に備えた保持部品の取付構造において、前記ホルダーの保持部に、該薄物とは異なる種類の物を支持する支持部を併設する一方、保持部を前記内装品とは別体に形成して、内装品に後から保持部を組付けるようにしたことを特徴とする保持部品の取付構造。

【請求項2】 前記内装品に凹部を形成し、前記保持部を凹部内に収容するようにしたことを特徴とする請求項1に記載の保持部品の取付構造。

【請求項3】 前記支持部がフックであり、前記保持部を前記内装品に取付けるためのネジ締着部をフックに近接して設け、前記内装品に保持部を取付けるようにしたことを特徴とする請求項1に記載の保持部品の取付構造。

【請求項4】 前記フックに近接させて前記保持部に突起部を設けるとともに、前記内装品に前記突起が嵌合する孔を形成したことを特徴とする請求項1又は3に記載の保持部品の取付構造。

【請求項5】 前記保持部に設けた突起部の先端にさらに係止部を形成し、該係止部を前記内装品に形成した前記孔の縁部に係止させたことを特徴とする請求項4に記載の保持部品の取付構造。

【請求項6】 前記ホルダーの両側に、前記フックを設けたことを特徴とする請求項3に記載の保持部品の取付構造。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、自動車のセンター コンソール等の内装品に装着されるチケットや各種小物を保持する保持部品の取付構造に関する。

【0002】

【従来の技術】 自動車の室内にスーパーでした買物の際に商品を入れるビニール製の買い物袋の把持部（吊り下げ部）を引っ掛けるフックがあると、商品を入れた買い物袋が室内を転がることなく便利である。図8は、その買い物袋を引っかけるフック51の取付状態を示す。フック51は、例えば車室の内装パネル52の上縁部や、内装パネル52に形成した開口53の縁部に、スピードナット54を挟持させることにより、スクリュー55によって取付けている。また、自動車のセンターコントロール等の内装材に高速道路の通行券やガソリンの給油カード等を把持するチケットホルダーがあると、やはり便利である。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 フックを内装品に一体成形する場合に、買い物袋の把持部の外れを防ぐためにフックの先端を内側に湾曲させた形状にすることが多く、成形時の型抜きを考慮すると、中子等を用いねばな

らず、型構造が複雑となっている。また、コンソールボックスやインストルメントパネルなどの内装品に、チケットホルダー部を型により成形する場合に、厚さの薄いチケットを保持するホルダー部の成形は、型も薄く形成しなければならず、これが型の耐久性を悪化させるとともに、型構造も複雑にしていた。

【0004】 それらのフックやチケットホルダーを近づけて室内に設置しようとする場合、各々、別の取付部材やその取付スペースが必要である。特に、軽自動車等に設置する場合は、レイアウト上の制限が厳しく困難であった。さらには、フック等を別体で取付けたフックは内装品の意匠面から突出することから、外観上の見栄えが悪くなるとともに、一つのフックに買物袋の一対の把持部と一緒にして引っ掛けると、買物袋の口が閉じてしまい、袋の中身から品物を取出すことができないという不都合があった。本発明はこのような事情に鑑みてなされたもので、車室の内装品に取付けられる保持部品の取付構造を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】 前記目的を達成するために本発明は、車室内に持ち込まれるチケット、レシート、カード等の薄物を保持するホルダーの保持部を車室の内装品に備えた保持部品の取付構造において、前記ホルダーの保持部に、該薄物とは異なる種類の物を支持する支持部を併設する一方、保持部を前記内装品とは別体に形成して、内装品に後から保持部を組付けるようにしている。前記発明は、前記内装品に凹部を形成し、前記保持部を凹部内に収容することができ、また、前記支持部をフックとし、前記保持部を前記内装品に取付けるためのネジ締着部をフックに近接して設け、前記内装品に保持部を取付けるようにすることができる。さらに、前記発明は、前記フックに近接させて前記保持部に突起部を設けるとともに、前記内装品に前記突起が嵌合する孔を形成することができ、さらには、前記保持部に設けた突起部の先端にさらに係止部を形成し、該係止部を前記内装品に形成した前記孔の縁部に係止させることができ、前記ホルダーの両側に、前記フックを設けることができる。

【0006】

【発明の実施の形態】 以下、本発明の実施の形態による保持部品の取付構造について、図面を参考しながら説明する。図1は、自動車の運転席と助手席との間のフロア上に配設されるセンターコンソール1を示す。樹脂製のセンターコンソール1は、型により一体成形によって形成され、長手方向が車両の前後方向になるように配設され、その先端側の前面4が下側に傾斜（若しくは湾曲）している。センターコンソール1の上面2の前側には、開口が四角形状の小物入れ3が設けられている。また、センターコンソール1の前面4の上側には、三角形状で後方側に窪んでいる凹部5を形成している。凹部5には

水平方向に延在する水平面5aと上下方向に延在する縦面5bとが形成されている。そして、水平面5aには両側部にネジ貫通孔13が設けられている。他方の縦面5bにはその中間部から一定幅で前方に突出し、かつ上側に傾斜面を有する突出面5cが形成され、縦面5bの下部でかつ突出面5cの両側には係止孔14が形成されている。

【0007】凹部5には、型で一体成形された樹脂製の保持部品6が取付けられる。図2に示すように、保持部品6は、水平面5aに載置されるようにして凹部5に収容され、この保持部品6が凹部5に取付けられている状態で、センターコンソール1の前面4の基準面に沿って配置され、中央部にはほぼ四角形状で上方に突出した舌片状のホルダー7を設けている。このホルダー7の上端部は僅かに車両の前側に屈曲させた先端部8を有し、先端部8はセンターコンソール1の上面2と前面4との境界部に沿って当接させ、または僅かに隙間を開けて配置させている。

【0008】図1及び図3に示すように、ホルダー7の裏面側には、その裏面から後方側に突出させたリブ9が複数本、上下方向に延在するように形成され、リブ9の下部にはセンターコンソール1に当接する仕切り板10を保持部材6の幅方向に延在させている。ホルダー7の左右両側部には、図4に示すように台座12が設けられ、台座12の上面には上方にほぼ直線的に突出させたフック11が形成されている。フック11の先端部には後方側に突出した突起11aが形成されている。各々のフック11の直下若しくはこれに近接させて、上下方向に延在するネジ取付孔15が形成されている。このネジ取付孔15はネジ貫通孔13に対応する位置に配置されている。台座12の両側部の下部側裏面には、車両の後方側に水平方向に突出している係止爪16を形成している。一对の台座12間の長さは、上述した突出面5cの幅と一致するように形成し、係止爪16は係止孔14に対応する位置に配置している。

【0009】保持部品6を凹部5に組付けるには、凹部5の水平面5aに保持部品6を載置する。この際、台座12を突出面5cに挟み込むようにし、また係止爪16を係止孔14に差し込むようにして取付けるので、センターコンソール1に対する保持部品6の位置決めとなる。そして、スクリュー17をネジ取付孔15に螺着することにより、保持部品6はセンターコンソール1に取付けられる。

【0010】本実施の形態による保持部品の取付構造は、チケット、領収書等の紙類若しくはカードを、センターコンソール1とホルダー7との間に差し込むだけで、突出面5cとリブ9との間にそれらのチケット19類を挟持するものである。また、フック11のほぼ直下にスクリュー17のネジ取付孔15部を設けているので、買い物袋20内の品物の重量が直接かかる保持部品

6の負荷を柔らげることができる。台座12の下側裏面に係止爪16を設けることにより、係止爪16にモーメントがかかることにより、スクリュー17の締結部以外にも荷重がかかることとなり荷重の分担を図ることができる。よって、荷重による強度を大きくすることができる。このフック11は、ホルダー7の両側に一定の距離を開けてあることから、買い物袋20に2個設けている把持部を、各々のフック11に引っ掛けることができ、さらなる荷重の分担を図るとともに、買い物袋20の取出口が開いたままの状態で維持することができ、買い物袋の中身を取り出すことができる。

【0011】本実施の形態では、チケット19等のホルダー7とフック11を一体にした保持部品6を、センターコンソール1とは別体として形成したので、センターコンソール1と保持部品6の型構造を簡易にすることができます。ホルダーとフック11を一体にしたことから部品点数の削減と取付工数の削減となる。また、センターコンソール1に凹部5を設け、凹部5内に保持部品6を収容させたので、センターコンソール1の基準面（意匠面）から保持部品6が突出せず、保持部品6が邪魔にならず、見栄えも良い。

【0012】図5は、本発明の第2の実施の形態であり、保持部品としてのチケット19等のホルダー21と、ジユースの容器23類を保持させるカップホルダー22とを組み合わせたものである。すなわち、インストルメントパネル24にカップホルダー22を設け、カップホルダー22には受け皿25と摺動アーム26を設け、この摺動アーム26の先端部にチケットホルダー21を設けている。このように、本発明は、センターコンソール1以外の内装品であるインストルメントパネル24に配設した、カップホルダー22との組み合わせでも、部品点数を減らすことができる。

【0013】図6は、本発明における第3の実施の形態であり、保持部品としてのチケット19等のホルダー31と、灰皿32とを組み合わせたものである。すなわち、インストルメントパネル33に灰皿32を設け、灰皿32に設けている蓋34の表面側にチケットホルダー31を設けている。このように、本発明は、センターコンソール1以外の内装品であるインストルメントパネル33に設けられている灰皿32との組み合わせでも、部品点数を減らすことができる。

【0014】以上、本発明の各実施の形態について説明したが、勿論、本発明はこれらに限定されることなく、本発明の技術的思想に基いて種々の変形及び変更が可能である。図7は、上記第1の実施の形態において、図4に対応する図である。保持部品6の台座12の下部に形成した係止爪16に、車幅方向に延在し開口が上方に向いた溝18を形成し、保持部品6の取付時に溝18を係止孔14の縁部に収容するようにして、その係止爪16の支持を確実に大きくしている

【0015】

【発明の効果】以上述べたように、本発明は、車室内に持ち込まれるチケット、レシート、カード等の薄物を保持するホルダーの保持部を車室内の内装品に備えた保持部品の取付構造において、前記ホルダーの保持部に、該薄物とは異なる種類の物を支持する支持部を併設する一方、保持部を前記内装品とは別体に形成して、内装品に後から保持部を組付けるようにしたので、内装品と保持部品の各成形時における型構造を簡易にすることができ、また、1つの保持部品で保持部と支持部を設けることにより、2つの異なる機能を果たすことができるようになった。前記発明は、前記内装品に凹部を形成し、前記保持部を凹部内に収容するようにしたので、保持部品を内装品の意匠面から突出させることなく、保持部品の存在が邪魔にならない。また、前記発明は、前記支持部がフックであり、前記保持部を前記内装品に取付けるためのネジ締着部をフックに近接して設け、前記内装品に保持部を取付けるようにしたので、支持部の強度が大きくなり、支持部に中身の重い買い物袋を引っ掛けても十分に耐えることができる。また、前記発明は、前記フックに近接させて前記保持部に突起部を設けるとともに、前記内装品に前記突起が嵌合する孔を形成したので、保持部に買い物袋が引っ掛けられたときに、保持部品にかかる荷重が、ネジ締着部と突起部に分散することができるようになった。さらに、前記発明は、前記保持部に設けた突起部の先端にさらに係止部を形成し、該係止部を前記内装品に形成した前記孔の縁部に係止したので、係止部が係止孔の縁部に確実に係合することにより確実に、ネジ締着部と突起部に分散することができる。またさらに、前記発明は、前記ホルダーの両側に、前記フックを設けたので、一对のフックに買い物袋の一対の把持部を別々に引っ掛けることにより、保持部品にかかる荷重のさらなる分散と、買い物袋の取出口を開けた状態の

ままで維持することができ、品物の取入れまたは取出しが容易になった。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態による保持部品の取付構造を採用しているセンターコンソールと保持部品の分解斜視図である。

【図2】図1のセンターコンソールに保持部品を組付けた状態の斜視図である。

【図3】図2におけるA-A線方向の断面図である。

【図4】図2におけるB-B線方向の断面図である。

【図5】本発明の第2の実施の形態による保持部品の取付構造のチケットホルダーとカップホルダーの組み合わせを示す側面図である。

【図6】本発明の第3の実施の形態による保持部品の取付構造のチケットホルダーと灰皿の組み合わせを示す側面図である。

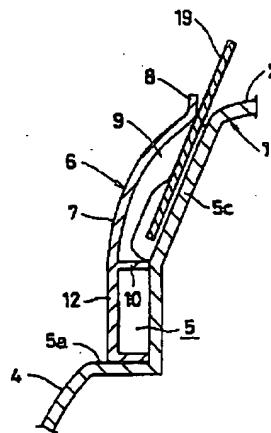
【図7】本発明の第1の実施の形態の変形例を示す断面図である。

【図8】従来の買い物袋を支持するフックの取付状態を示す側面図である。

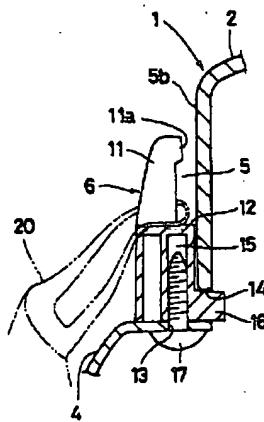
【符号の説明】

- 1 センターコンソール
- 5 凹部
- 6 保持部品
- 7, 21, 31 ホルダー
- 9 リブ
- 11 フック
- 12 台座
- 14 係止孔
- 16 係止爪
- 18 溝
- 22 カップホルダー
- 32 灰皿

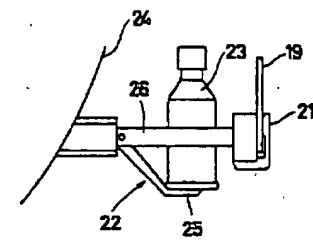
【図3】



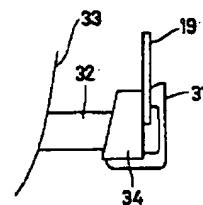
【図4】



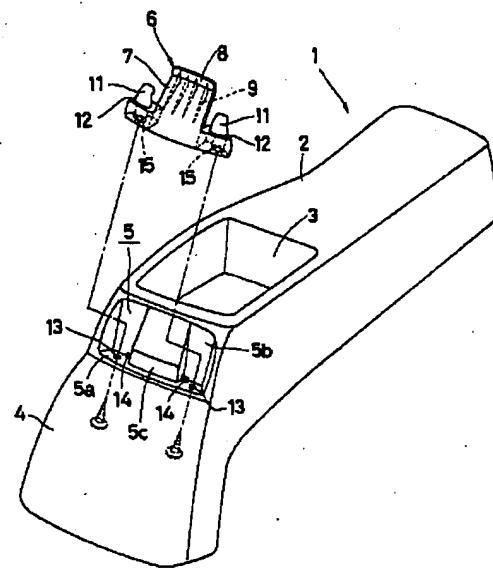
【図5】



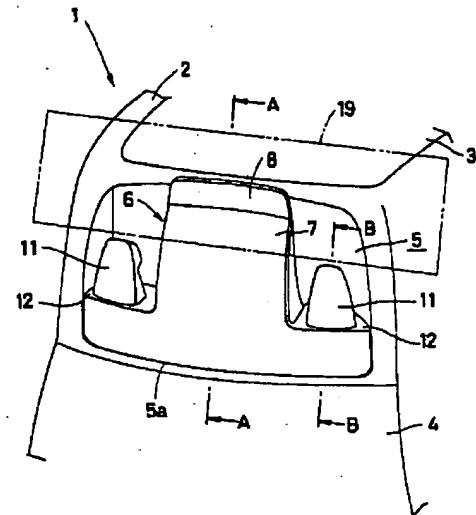
【図6】



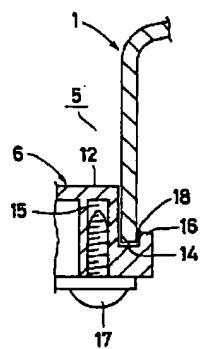
【图1】



【図2】



【図7】



【図8】

